



MS343-30012/13
リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDリヤバンパースポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS343-30012-A0	ホワイトパールクリсталシャイン (062)	クランク 18.6～. 適合:B,S,G,G-Exective (除く RSグレード)
MS343-30012-C0	ブラック (202)	
MS343-30012-C1	プレシャスブラック (219)	
MS343-30013-NP	プライマー仕様 (NP)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

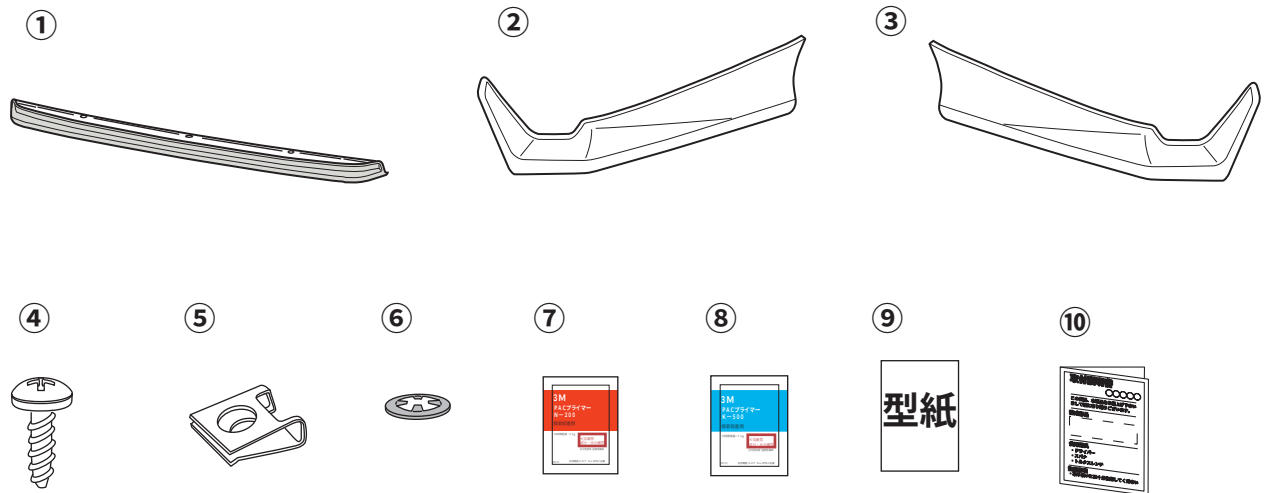
Nº	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラーセンター	1	サテン調シルバー
②	リヤバンパースポイラーRH	1	
③	リヤバンパースポイラーLH	1	
④	タッピングスクリュー	7	5×16
⑤	Jナット	7	M5用
⑥	ブッシュナット	4	Φ3.0
⑦	PACプライマー	1	N-200
⑧	PACプライマー	1	K-500
⑨	型紙	1	シール
⑩	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

以下、MS343-30013-NP(未塗装品セット)のみに同梱

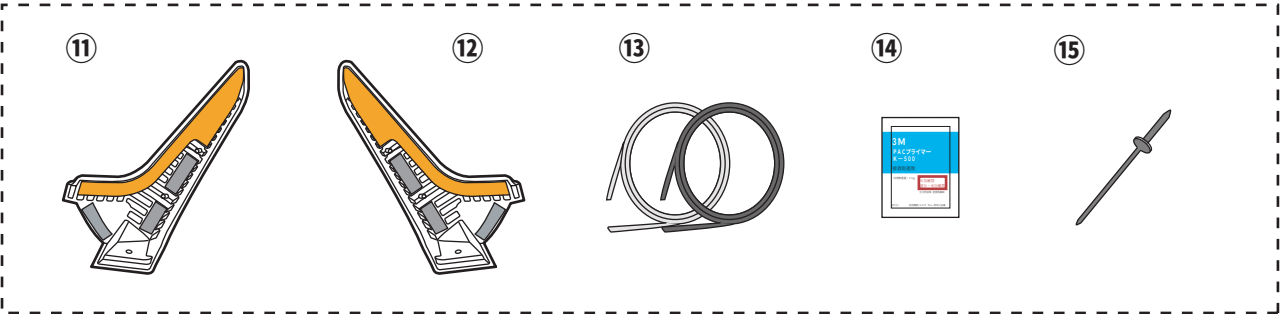
Nº	品名	個数	備考
⑪	別ピースRH	1	
⑫	別ピースLH	1	
⑬	モール	(各2)	黒/グレー L=700mm
⑭	PACプライマー	1	K-500
⑮	リベット	2	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



⑩～⑭は未塗装品にのみ同梱



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



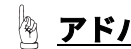
警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

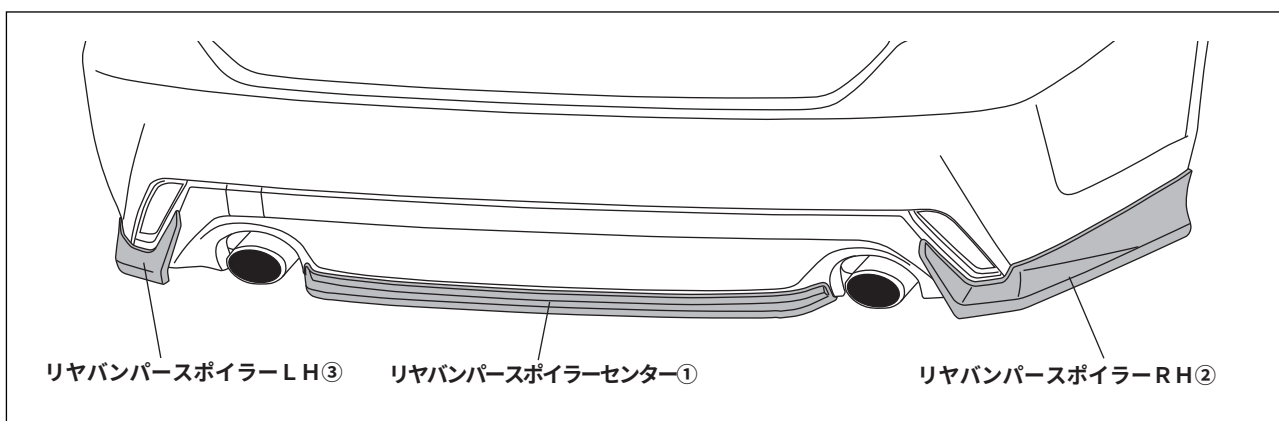
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・ 1～2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ)・・・・・・・・・・ 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・ 4
4. 取付け要領・・・・・・・・・・ 4～11
5. 取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・ 12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

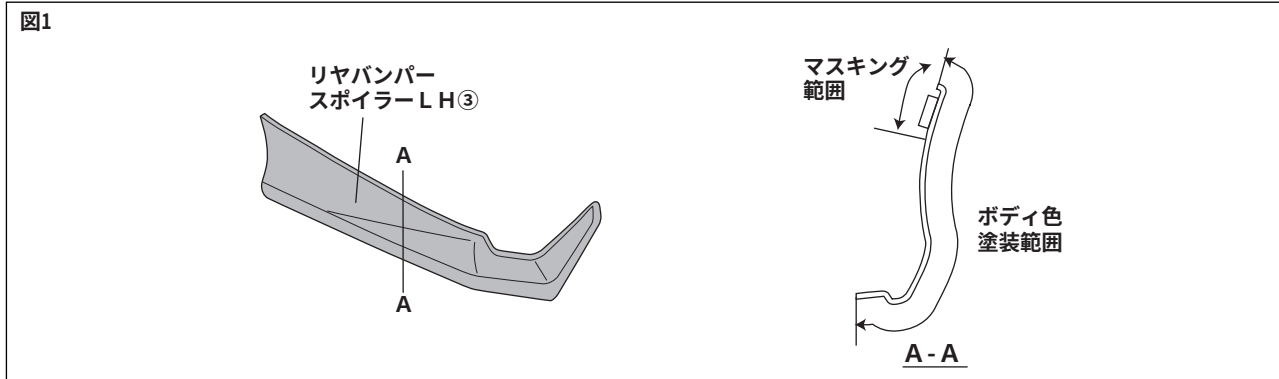
- ・加工用工具（ハサミ、カッター等）・ヤスリ・ドリル・キリ（3.0mm・7.0mm）
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図



□ リヤバンパースポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



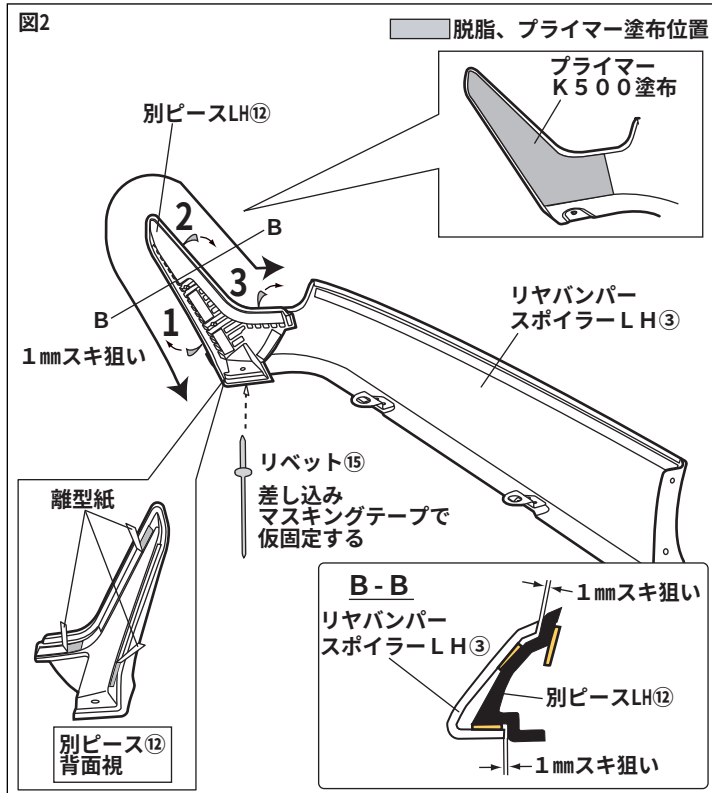
1. 図1のようにリヤバンパースポイラーLH③をボディ色で塗装する。

⚠ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠ 注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

図2



2. 図2のように別ピース LH ⑫ 取付部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑭を塗布する。

アドバイス: 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

アドバイス: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

3. 図2のように別ピース LH ⑫ の離型紙を、外側に約30mm剥がし、リヤバンパースポイラー LH ③をかぶせ、リベット⑮を差し込みマスキングテープ等で仮固定する。(左右各1箇所)

⚠ 注意: この時点でリベット⑮を打ち込んでしまうと離型紙が剥がせなくなってしまう場合があります。

4. 図2のように各部のスキが一定になっていることを確認し、離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。{49N(5Kg f)以上}(左右各3箇所)

5. 仮固定したリベット⑮を打ち込み固定する。(左右各1箇所)

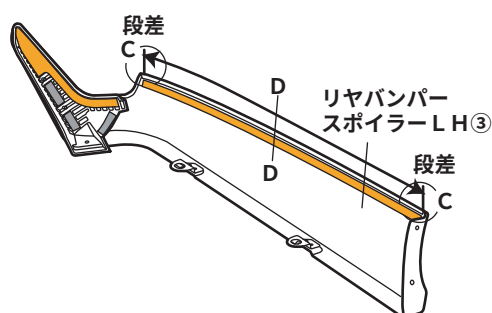
⚠ 注意: 両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙間が大きくなる恐れがあります。

⚠ 警告: 両面テープは十分に圧着して下さい。
圧着が不十分で隙間が大きい場合は、車検に通らない場合があります。

モールの貼付け

図3

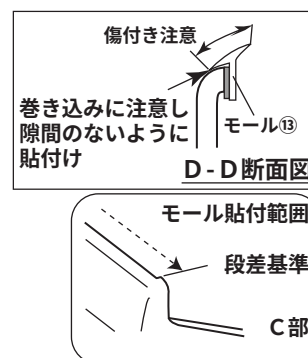
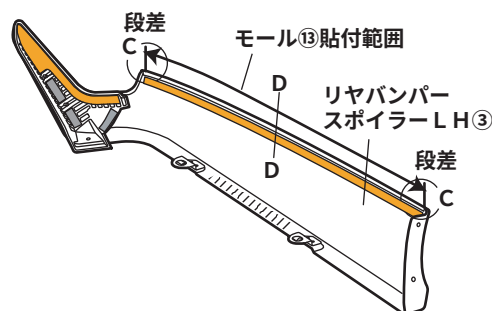


1. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑭を塗布する。

⚠ 注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス: 脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図4



2.図4のようにリヤバンパースポイラー LH ③に、モール⑬の離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。
{49 N (5 kg f) 以上}

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

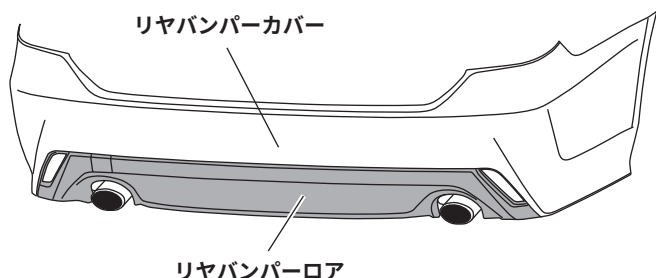
⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：モール⑬は、二色同梱されています。巻末の推奨カラー表を参照してください。

■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
1F7	シルバー.ME	グレー
1J6	プレシャスシルバー	グレー
1K5	プレシャスガラナ	ブラック
3R9	ディープレッド.MC.ME	ブラック
3U2	リッチレッドクリスタルシャイン.GF	ブラック
4R8	オレンジ.ME	ブラック
6W4	アルミニウムジェード.ME	ブラック
8S6	ダークブルー.MC	ブラック
8W7	ダークブルー.MC.ME	ブラック
8Y1	パールブルー.ME	ブラック

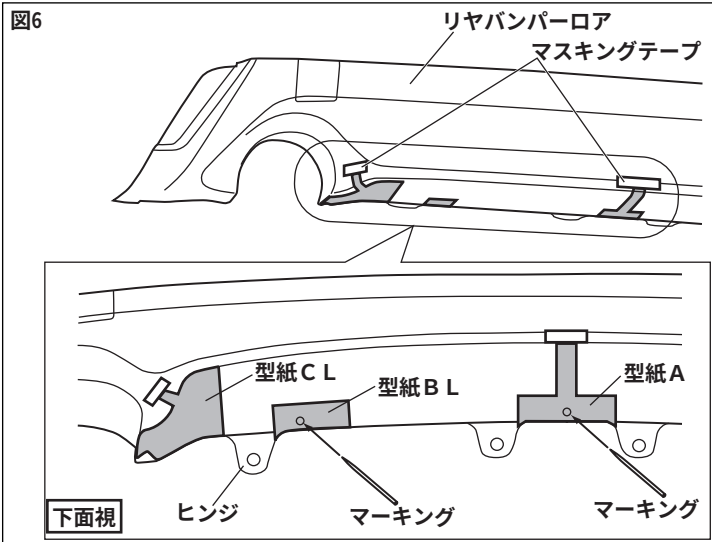
図5



□ リヤバンパースポイラーの取付準備

- 1.車両修理書に従い、リヤバンパーカバーを取外す。
- 2.リヤバンパーロアを取外す。

⚠注意：取外した車両部品は再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



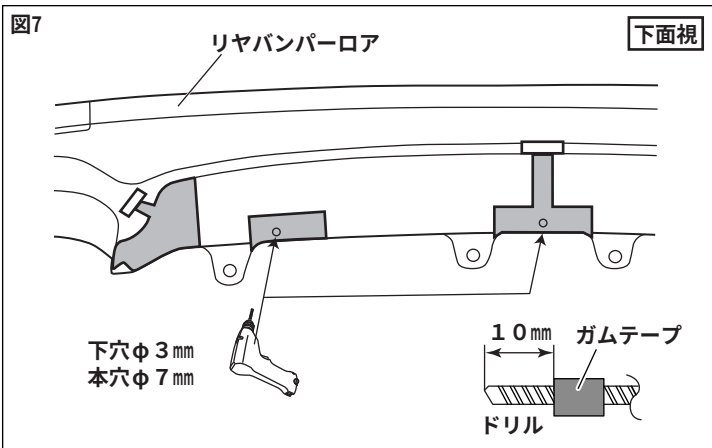
3. 図6のようにリヤバンパーロアに型紙A、B L、C Lを下面のパーティングラインに合わせ貼付けし、指示部をマーキングする。

(3箇所)

⚠ 注意：型紙B貼付け作業時は、ヒンジ部を戻した状態で貼付け作業を行ってください。

4. 図6のように型紙A、C Lのモール高さ指示の位置にマスキングテープを貼る。

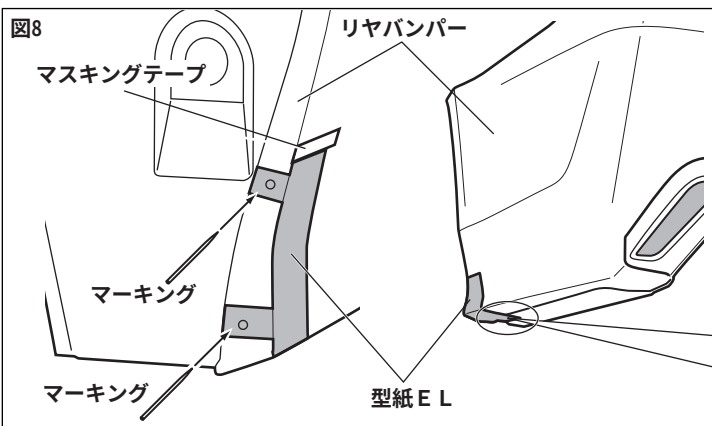
(3箇所)



5. 図7のように、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順でドリルを使用してリヤバンパーロアのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。

(3箇所)

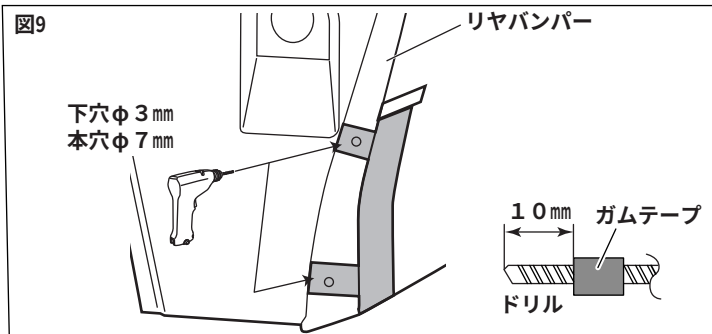
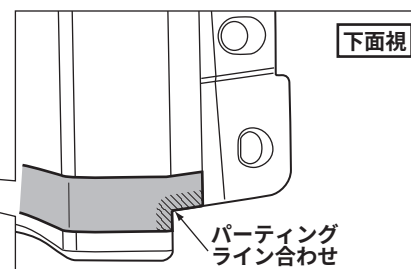
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。



6. 図8のようにリヤバンパーのホイールハウス部のパーティングラインに合わせ型紙E Lを貼付け、指示部をマーキングする。(左右各2箇所)

7. 図8のように型紙E Lのモール高さ指示の位置にマスキングテープを貼る。(左右各1箇所)

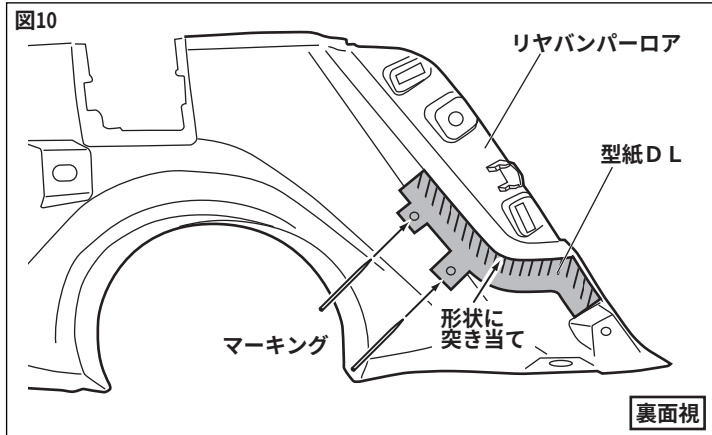
8. マーキングした型紙をすべて剥がす。



9. 図9のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してリヤバンパーホイールハウスのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。(左右各2箇所)

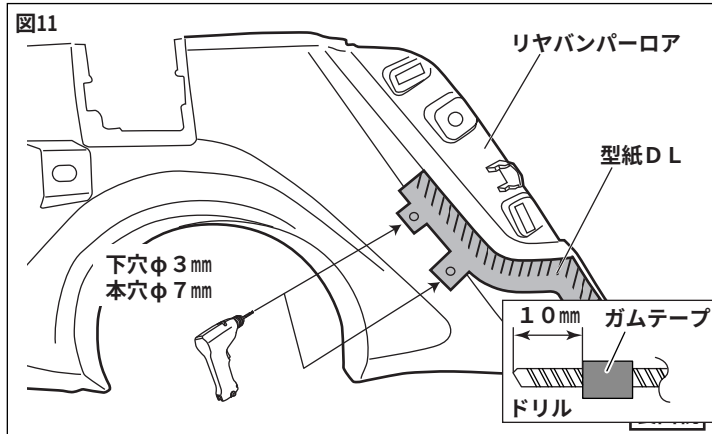
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

図10



10. 図10のようにリアバンパーロア裏面の形状に突き当て型紙DLを貼付け、指示部をマーキングする。
(左右各2箇所)

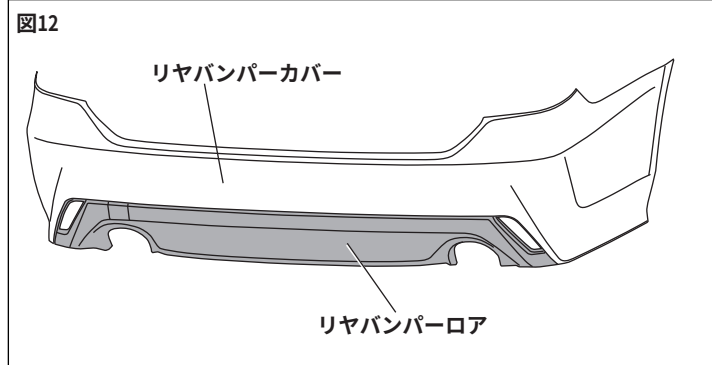
図11



11. 図11のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してリアバンパーホイールハウスのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。
(左右各2箇所)

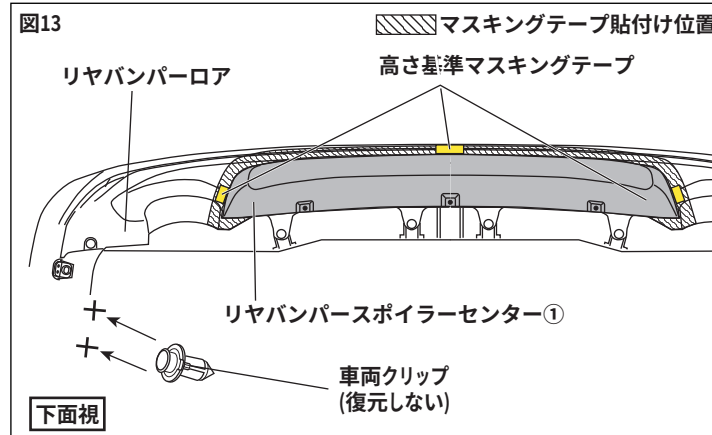
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

図12



12. 車両修理書に従い、リアバンパーロアを復元する。

図13



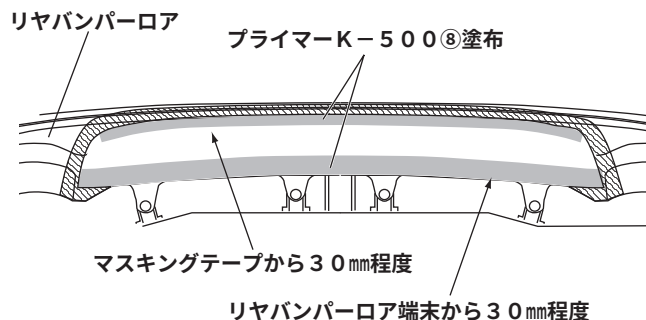
□ リヤバンパースポイラーの取付要領

1. 車両修理書に従い、リアバンパーASSYを復元する。
2. 図13のようにリアバンパースポイラーセンター①を高さ基準マスキングテープに合わせ、ガムテープ等で仮固定する。
3. 図13のようにリアバンパースポイラーセンター①の外周に合わせマスキングテープを貼付ける。
4. リヤバンパースポイラーセンター①を外す

⚠ 注意：この時点では下面の車両クリップ(左右2カ所)は復元しないでください。

図14

■脱脂、プライマー塗布位置



下面視

図15

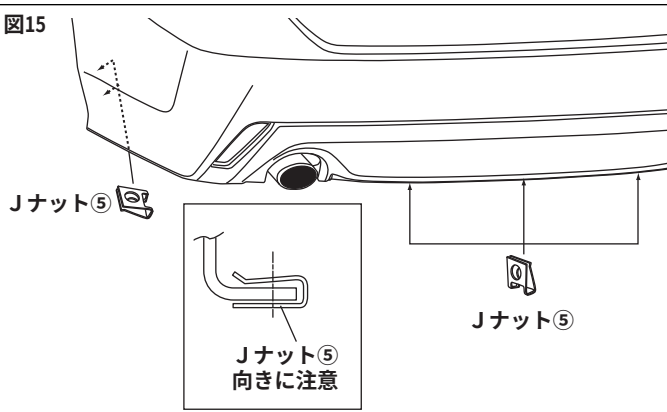
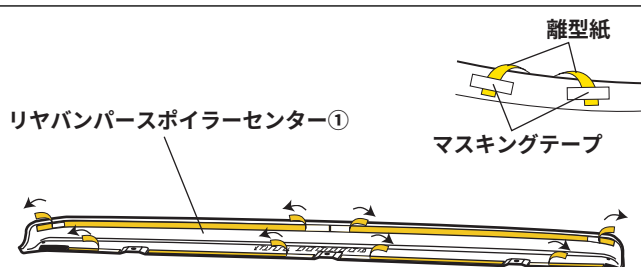
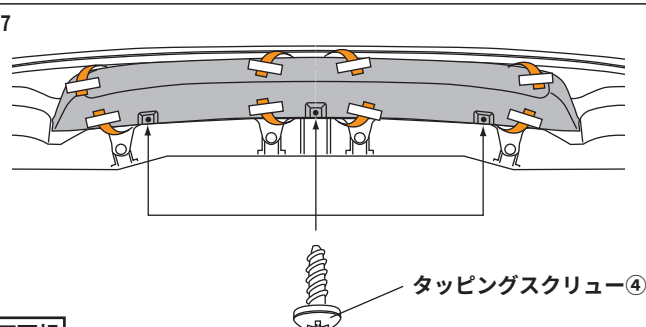


図16



リヤバンパーポイラーセンター①裏面図

図17



下面視

5. 図14のようにリヤバンパーポイラーセンター①貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

6. 図14のようにリヤバンパーポイラーセンター①貼付け部にPACプライマー⑧を塗布する。

⚠ 注意：高さ基準のマスキングテープは残します。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA又はホワイトガソリン等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠ 注意：本製品にはPACプライマーが2種類同梱されています。使用用途が異なりますので間違い無いよう注意してください。
K500(青)：素地パーツ
N200(赤)：塗装済パーツ

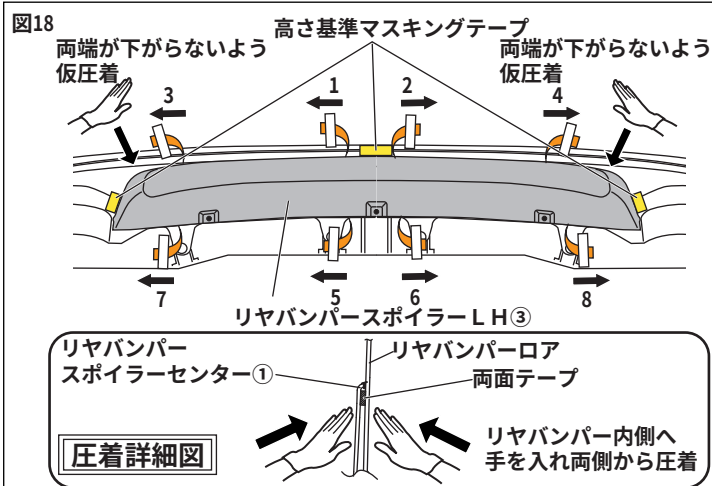
7. 図15のようにリヤバンパーローアにJナット⑤を差込む。(7箇所)

⚠ 注意：Jナット⑤の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー④が取り付けなくなります。

8. 図16のようにリヤバンパーポイラーセンター①の離型紙を、外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各4箇所)

⚠ 注意：両面テープのリケイ紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

9. 図17のようにリヤバンパーポイラーセンター①にタッピングスクリュー④を仮固定する。(3箇所)



10. 図18のように高さ基準を参考にリヤバンパーロアとリヤバンパースポイラーセンター①に隙間が開かないように押し付け、リヤバンパースポイラーセンター①の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。

{49N (5kgf) 以上}

11. 仮固定したタッピングスクリュー④を本締めする。(3箇所)

⚠ 注意：本製品取付けの両面テープの貼付け作業時は、以下の内容に注意し作業を行ってください。

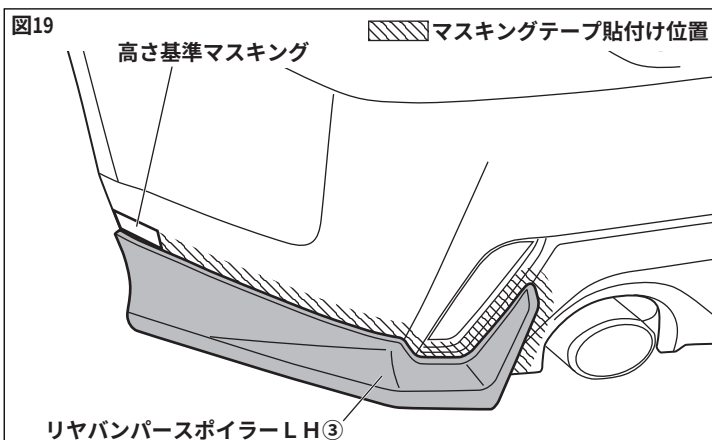
⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

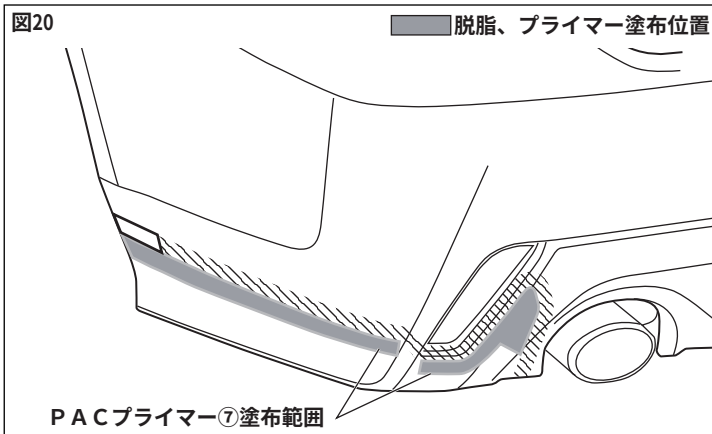
👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



12. 図19のようにリヤバンパースポイラー LH3を高さ基準を参考にリヤバンパーに合わせガムテープ等で仮固定する。

13. 図19のようにリヤバンパースポイラー LH3の外周に合わせマスキングテープを貼付ける。

14. リヤバンパースポイラー LH3を外す。



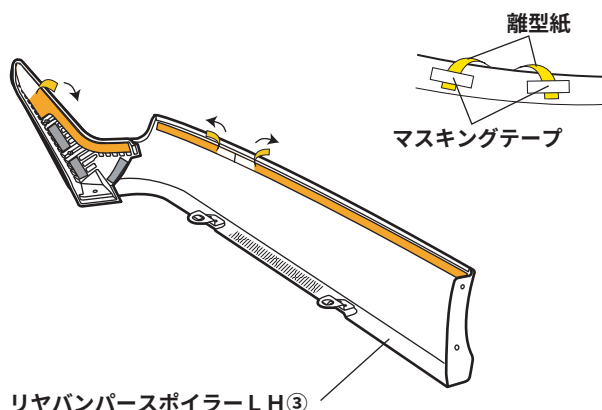
15. 図20のようにリヤバンパースポイラー LH3貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂する。

16. リヤバンパースポイラー LH3貼付け部にPACプライマー⑦を塗布する。

17. マスキングテープを剥がす。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA又はホワイトガソリン等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

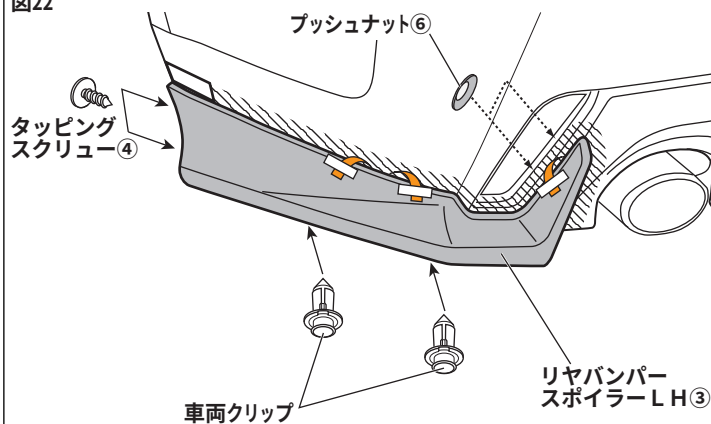
図21



18. 図21のようにリアバンパースポイラー LH ③の離型紙を、外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各3箇所)

⚠ 注意：両面テープのリケイ紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図22

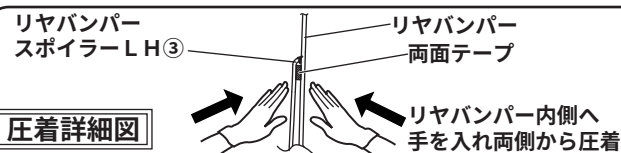
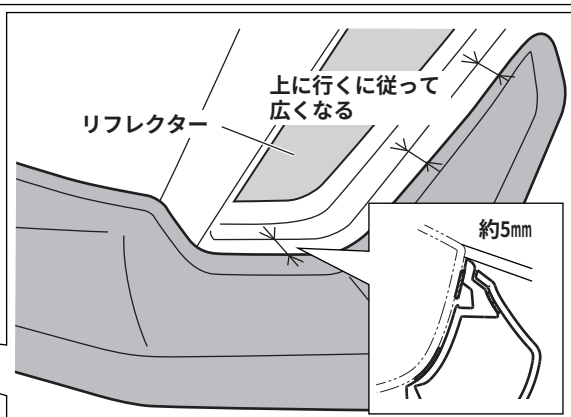
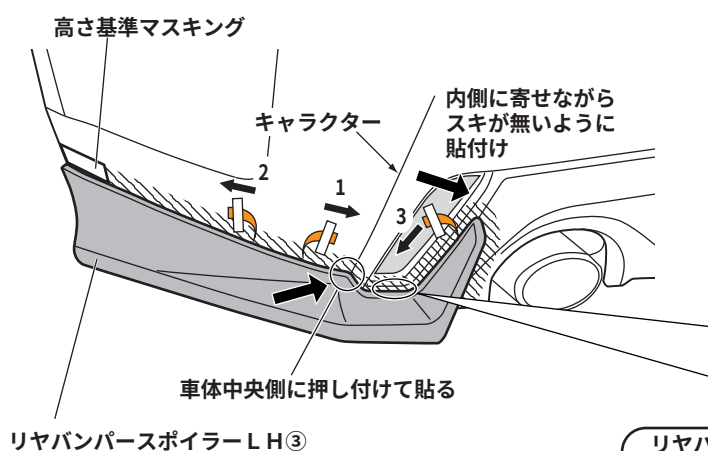


19. 図22のようにリアバンパーにリアバンパースポイラー LH ③をかぶせ、タッピングスクリュー ④で仮固定する。(左右各2箇所)

20. 図22のようにリアバンパーとリアバンパースポイラー LH ③をリアバンパーロアの裏から、2本のピンにプッシュナット ⑥を差し込み仮固定する。(左右各2箇所)

21. 図22のようにリアバンパーとリアバンパースポイラー LH ③を車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

図23



22. 図23のように高さ基準、キャラクター合わせ、リフレクター部位置を参考にリアバンパーとリアバンパースポイラー LH ③に隙間が開かないように押し付け、リアバンパースポイラー LH ③の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
 23. 仮固定したタッピングスクリュー ④を本締めする。
 24. 仮固定したプッシュナット ⑥を奥まで押し込む。
 25. 残っているマスキングテープを全て剥がす。

{49N (5kgf) 以上}
 (左右各2箇所)

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地

TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122

<http://www.trdparts.jp/>

